

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 新興国債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)」は、このたび、第102期の決算を行いました。

当ファンドは世界の新興国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ 新興国債券ファンド <為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)

愛称：エマドル

追加型投信 / 海外 / 債券



<為替ヘッジなし (毎月決算型) > <為替ヘッジあり (毎月決算型) >

第102期末 (2023年11月15日)		第102期末 (2023年11月15日)	
基準価額	5,968円	基準価額	5,134円
純資産総額	36百万円	純資産総額	11百万円
第97期～第102期		第97期～第102期	
騰落率	9.9%	騰落率	△ 2.9%
分配金(税込み)合計	240円	分配金(税込み)合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第97期 (決算日 2023年6月15日)

第98期 (決算日 2023年7月18日)

第99期 (決算日 2023年8月15日)

第100期 (決算日 2023年9月15日)

第101期 (決算日 2023年10月16日)

第102期 (決算日 2023年11月15日)

作成対象期間 (2023年5月16日～2023年11月15日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100

(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>



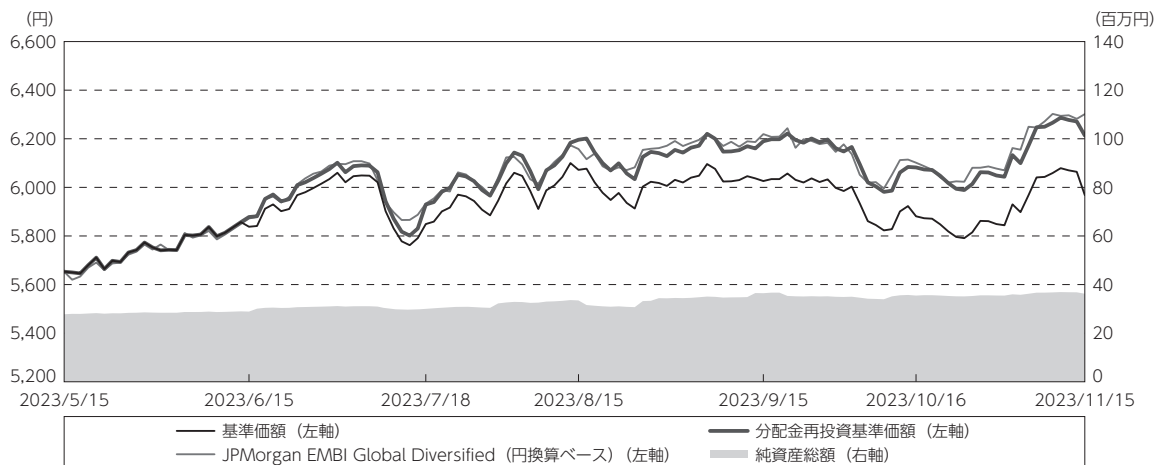
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

インベスコ 新興国債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年5月16日~2023年11月15日)



第97期首：5,653円

第102期末：5,968円 (既払分配金(税込み)：240円)

騰落率：9.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびJPMorgan EMBI Global Diversified (円換算ベース)は、作成期首(2023年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) JPMorgan EMBI Global Diversified (円換算ベース)は、参考指数です。参考指数の詳細は24ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

【上昇要因】

- ・世界の新興国の公社債など(貸付債権を含みます。以下同じです。)を実質的な投資対象とし、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行った結果、実質的に保有する債券から高水準のインカムゲイン(利息収入)を獲得したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・米ドル建ての資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、作成期を通じてみると米ドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・米連邦準備理事会（FRB）が利上げを行ったこと、作成期末には利上げが終了するとの見方が広がったものの、金融引き締め政策の継続を示していることなどから、債券利回りが上昇（債券価格は下落）したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2023年5月16日～2023年11月15日)

項目	第97期～第102期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 27	% 0.459	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.028)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0.415)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.076	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.016)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.039)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	31	0.535	
作成期間の平均基準価額は、5,936円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

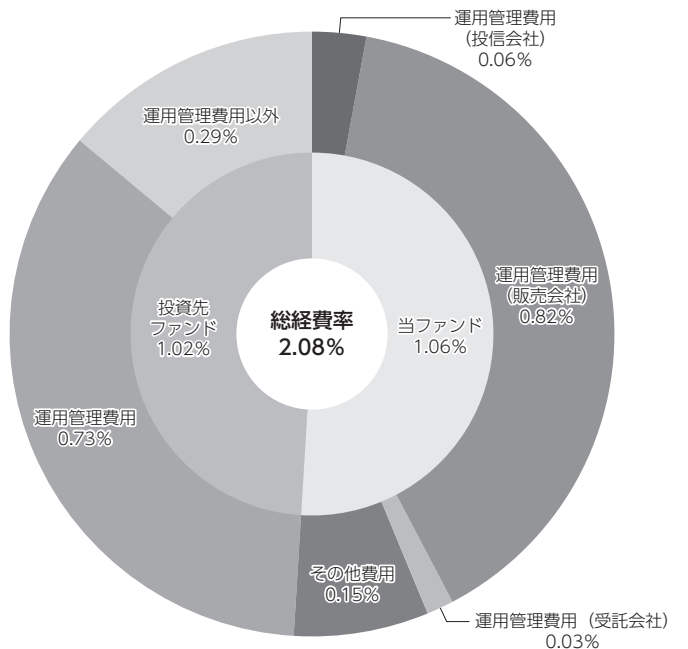
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.08
①当ファンドの費用の比率	1.06
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

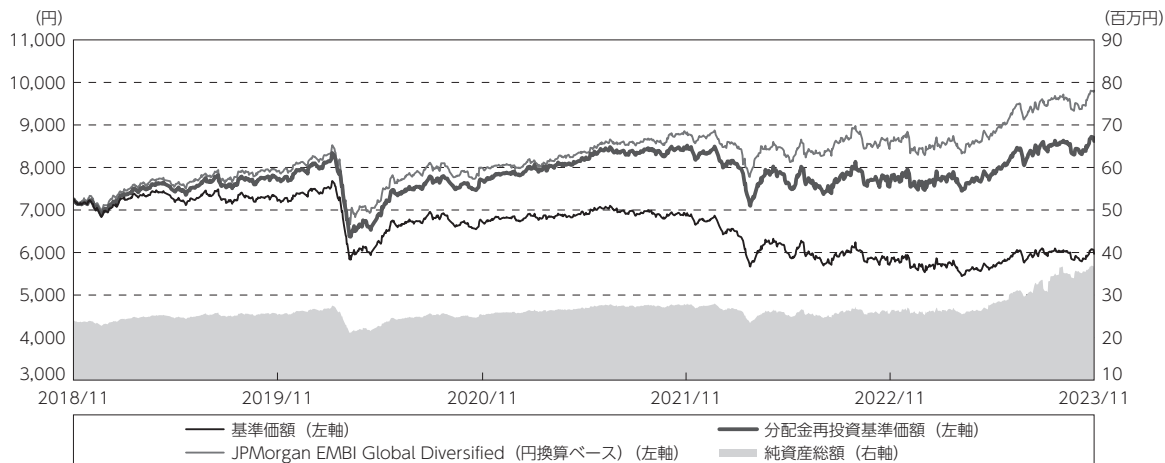
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月15日～2023年11月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびJPMorgan EMBI Global Diversified (円換算ベース)は、2018年11月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月15日 決算日	2019年11月15日 決算日	2020年11月16日 決算日	2021年11月15日 決算日	2022年11月15日 決算日	2023年11月15日 決算日
基準価額 (円)	7,254	7,213	6,713	6,865	5,768	5,968
期間分配金合計(税込み) (円)	—	480	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.2	△ 0.1	9.6	△ 9.1	12.4
JPMorgan EMBI Global Diversified (円換算ベース)騰落率 (%)	—	9.0	0.9	10.1	△ 2.3	14.2
純資産総額 (百万円)	23	25	25	27	25	36

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) JPMorgan EMBI Global Diversified (円換算ベース)は、参考指数です。参考指数の詳細は24ページをご参照ください。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2023年5月16日~2023年11月15日)

新興国公社債 (J.P. Morgan EMBI Global Diversified (米ドルベース))

+1.2%

米ドル/円 150円66銭 (前作成期末 136円05銭)

※新興国公社債の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円は当作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、米国10年国債利回りは上昇しました。米国10年国債利回りの推移を見ると、作成期初は景気の底堅さから利上げが続くとの観測が高まったこと、米国政府の債務上限問題が嫌気されたこと、F R Bが利上げを再度行ったことなどを背景に、上昇基調で推移しました。作成期後半には、堅調な雇用などを背景に米国景気が底堅い推移となっていること、またそれに伴いF R Bが政策金利を従来の想定よりも長期にわたり高い水準に維持するとの観測が強まったことなどを受け、米国国債利回りは幅広い年限で上昇し、作成期末を迎えました。

世界の新興国債券市場は、米国国債利回りの上昇や中東の地政学リスクの高まりなどから一時的に下落したものの、良好な新興国のマクロ環境などを背景に、堅調に推移しました。当作成期間中、6つの地域のうち4つの地域でプラスリターンとなりました。プラスリターンとなった地域で相対的にプラス幅が大きかったのはアフリカ、欧州、マイナスリターンとなった地域は中東、ラテンアメリカでした。

<為替市場>

当作成期間中、米ドルは対円で上昇しました。作成期を通してみると、日銀が大規模な金融緩和政策を維持したこと、米国景気の底堅さからF R Bが金融引き締め政策を長期化するとの観測が広がったことなどを受け、米国の長期金利が上昇したことなどから日米金利差が拡大し、作成期末近くに一時1米ドル=151円台まで米ドル高/円安が進行する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年5月16日~2023年11月15日)

インベスコ 新興国債券 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) を高位に組み入れ、世界の新興国の公社債などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといいます。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド クラスC-SD (米ドル建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として、世界の新興国の公社債などに投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しました。具体的には、政府系機関の発行する債券を主な投資対象としつつ、社債を多く組み入れました。信用格付け別ではB B B格からB格中心の組入比率としました。国別配分では、メキシコ、コロンビア、南アフリカなどを高めの

組入比率としました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年5月16日～2023年11月15日)

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は+9.9%となり、参考指数であるJPMorgan EMBI Global Diversified (円換算ベース) の騰落率+11.5%を下回る結果となりました。

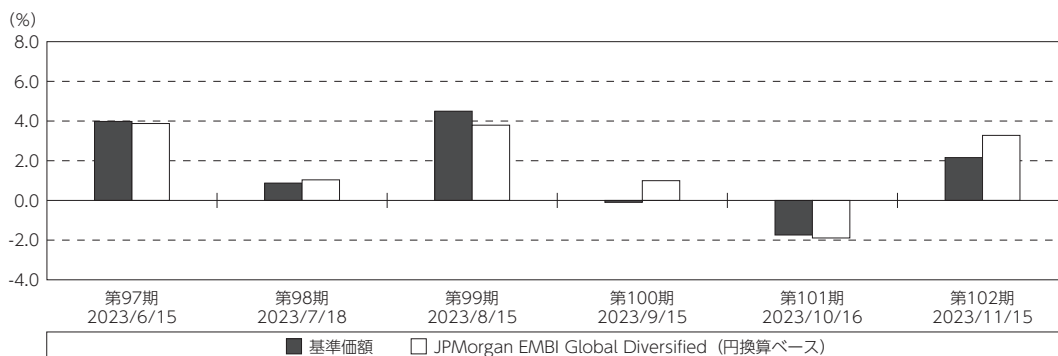
[プラス要因]

- ・ 相対的に堅調だったエルサルバドルやスリランカの配分を参考指数よりも高い配分としたことなどがプラスに寄与しました。
- ・ ガーナやコロンビアなどにおける銘柄選択がプラスに寄与しました。

[マイナス要因]

- ・ 相対的に堅調だったトルコを参考指数よりも低い配分としたことや、相対的に軟調だったウズベキスタンなどを参考指数よりも高い配分としたことなどがマイナスに影響しました。
- ・ 中国やナイジェリアなどにおける銘柄選択がマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) JPMorgan EMBI Global Diversified (円換算ベース) は、参考指数です。参考指数の詳細は24ページをご参照ください。

分配金

(2023年5月16日～2023年11月15日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第97期から第102期まで1万口当たり40円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2023年5月16日 ～2023年6月15日	2023年6月16日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月15日	2023年8月16日 ～2023年9月15日	2023年9月16日 ～2023年10月16日	2023年10月17日 ～2023年11月15日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.681%	0.679%	0.654%	0.659%	0.676%	0.666%
当期の収益	－	－	－	40	－	0
当期の収益以外	40	40	40	－	40	39
翌期繰越分配対象額	5,796	5,756	5,716	5,899	5,859	5,819

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、世界の新興国の公社債などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド クラスC-SD(米ドル建て)に投資を行います。同外国投資信託では、世界の新興国の公社債などに投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しつつ、中長期で安定した収益獲得に努めていきます。具体的には、流動性を重視しながら組入銘柄の見直しを行い、短期的な調整局面では割安と判断した優良銘柄を厳選し投資します。信用格付け別では、BBB格からB格中心の運用を継続します。国・業種別では、クレジット・スプレッドの拡大・縮小の局面に応じて、より大きなメリットを受ける国や業種を見極め、配分を決定していきます。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

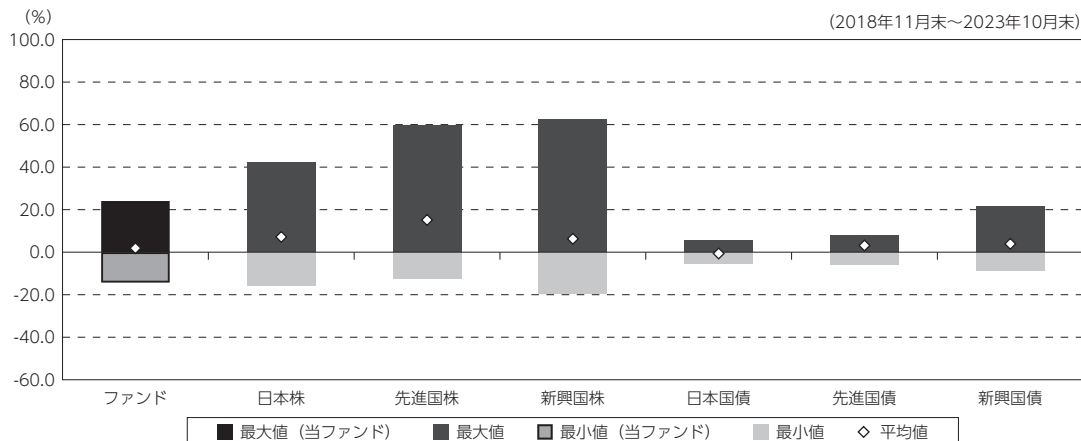
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2025年5月15日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界の新興国の公社債等を実質的に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 新興国債券ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	「インベスコ 新興国債券 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 新興国債券マザーファンド	別に定める投資信託証券 [*] へ投資し、主として世界の新興国の公社債等を実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド クラスC-SD (米ドル建て) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として世界の新興国の公社債等（貸付債権を含みます。）に実質的に投資します。 ・トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時（毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.9	7.2	15.2	6.3	-0.6	3.1	3.9
最大値	24.1	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-14.3	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P24の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月15日現在)

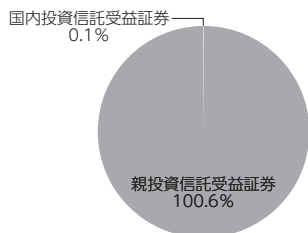
○組入上位ファンド

銘柄名	第102期末
インベスコ 新興国債券 マザーファンド	100.6%
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1%
組入銘柄数	2銘柄

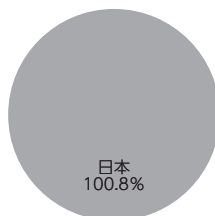
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

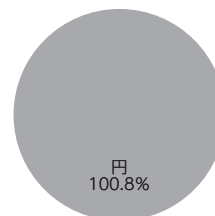
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2023年6月15日	2023年7月18日	2023年8月15日	2023年9月15日	2023年10月16日	2023年11月15日
純資産総額	28,882,004円	30,043,204円	33,465,835円	36,445,234円	35,473,966円	36,231,167円
受益権総口数	49,473,915口	51,366,562口	55,112,173口	60,481,543口	60,314,888口	60,709,033口
1万円当たり基準価額	5,838円	5,849円	6,072円	6,026円	5,881円	5,968円

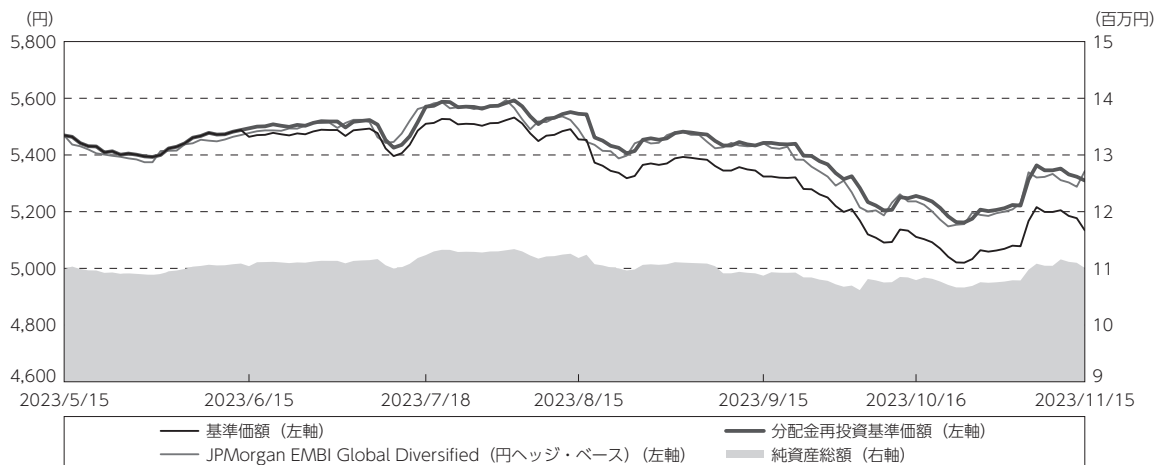
* 作成期間 (第97期~第102期) 中における追加設定元本額は17,639,522円、同解約元本額は6,078,446円です。

インベスコ 新興国債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年5月16日~2023年11月15日)



第97期首：5,469円

第102期末：5,134円 (既払分配金(税込み):180円)

騰落率：△ 2.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびJPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース)は、作成期首(2023年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) JPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース)は、参考指数です。参考指数の詳細は24ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- 世界の新興国の公社債など(貸付債権を含みます。以下同じです。)を実質的な投資対象とし、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行った結果、実質的に保有する債券から高水準のインカムゲイン(利息収入)を獲得したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行ったため、米ドルと円の金利差によるヘッジコストが基準価額の下落要因となりました。
- ・米連邦準備理事会（F R B）が利上げを行ったこと、作成期末には利上げが終了するとの見方が広がったものの、金融引き締め政策の継続を示していることなどから、債券利回りが上昇（債券価格は下落）したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2023年5月16日～2023年11月15日)

項 目	第97期～第102期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	25	0.459	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.028)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.415)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.074	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.017)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(2)	(0.038)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	29	0.533	
作成期間の平均基準価額は、5,346円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

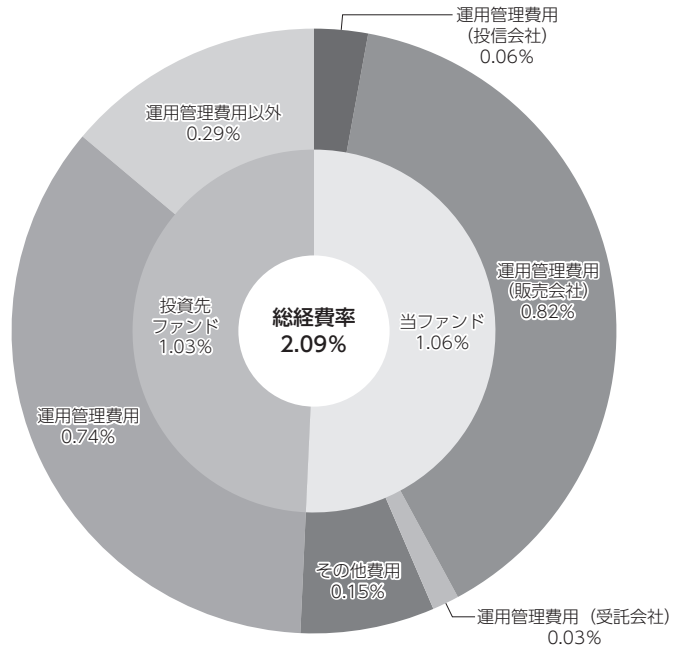
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.09
①当ファンドの費用の比率	1.06
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

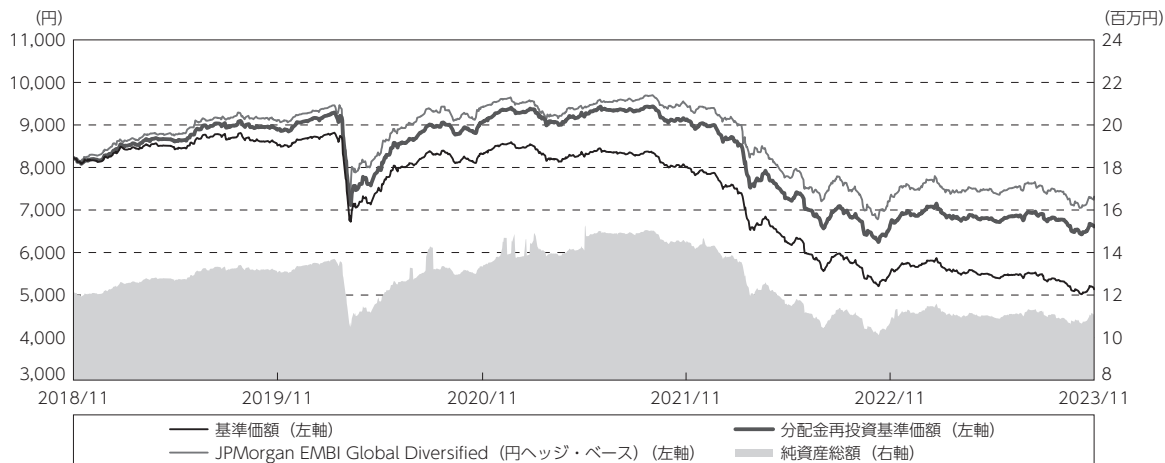
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月15日～2023年11月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびJPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース)は、2018年11月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月15日 決算日	2019年11月15日 決算日	2020年11月16日 決算日	2021年11月15日 決算日	2022年11月15日 決算日	2023年11月15日 決算日
基準価額 (円)	8,228	8,517	8,314	8,001	5,509	5,134
期間分配金合計(税込み) (円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.0	2.0	0.5	△ 27.1	△ 0.5
JPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース)騰落率 (%)	—	10.8	3.4	0.6	△ 23.1	0.4
純資産総額 (百万円)	12	13	13	14	10	11

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) JPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース)は、参考指数です。参考指数の詳細は24ページをご参照ください。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2023年5月16日~2023年11月15日)

新興国公社債 (J.P. Morgan EMBI Global Diversified (米ドルベース))

+1.2%

米ドル/円 150円66銭 (前作成期末 136円05銭)

※新興国公社債の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比)、米ドル/円は当作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、米国10年国債利回りは上昇しました。米国10年国債利回りの推移を見ると、作成期初は景気の底堅さから利上げが続くとの観測が高まったこと、米国政府の債務上限問題が嫌気されたこと、FRBが利上げを再度行ったことなどを背景に、上昇基調で推移しました。作成期後半には、堅調な雇用などを背景に米国景気が底堅い推移となっていること、またそれに伴いFRBが政策金利を従来の想定よりも長期にわたり高い水準に維持するとの観測が強まったことなどを受け、米国国債利回りは幅広い年限で上昇し、作成期末を迎えました。

世界の新興国債券市場は、米国国債利回りの上昇や中東の地政学リスクの高まりなどから一時的に下落したものの、良好な新興国のマクロ環境などを背景に、堅調に推移しました。当作成期間中、6つの地域のうち4つの地域でプラスリターンとなりました。プラスリターンとなった地域で相対的にプラス幅が大きかったのはアフリカ、欧州、マイナスリターンとなった地域は中東、ラテンアメリカでした。

<為替市場>

当作成期間中、米ドルは対円で上昇しました。作成期を通してみると、日銀が大規模な金融緩和政策を維持したこと、米国景気の底堅さからFRBが金融引き締め政策を長期化するとの観測が広がったことなどを受け、米国の長期金利が上昇したことなどから日米金利差が拡大し、作成期末近くに一時1米ドル=151円台まで米ドル高/円安が進行する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年5月16日~2023年11月15日)

インベスコ 新興国債券 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) を高位に組み入れ、世界の新興国の公社債などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといいます。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド クラスC-SD (米ドル建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として、世界の新興国の公社債などに投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しました。具体的には、政府系機関の発行する債券を主な投資対象としつつ、社債を多く組み入れました。信用格付け別ではBBB格

からB格中心の組入比率としました。国別配分では、メキシコ、コロンビア、南アフリカなどを高めの組入比率としました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年5月16日~2023年11月15日)

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は△2.9%となり、参考指数であるJPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース) の騰落率△2.3%を下回る結果となりました。

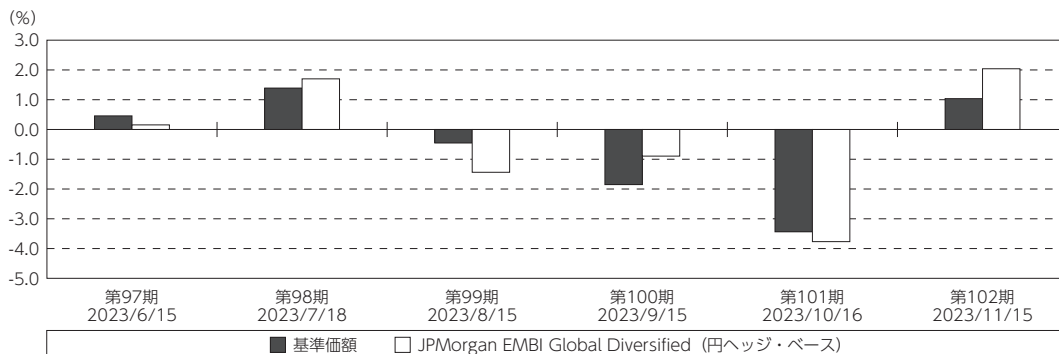
[プラス要因]

- ・相対的に堅調だったエルサルバドルやスリランカの配分を参考指数よりも高い配分としたことなどがプラスに寄与しました。
- ・ガーナやコロンビアなどにおける銘柄選択がプラスに寄与しました。

[マイナス要因]

- ・相対的に堅調だったトルコを参考指数よりも低い配分としたことや、相対的に軟調だったウズベキスタンなどを参考指数よりも高い配分としたことなどがマイナスに影響しました。
- ・中国やナイジェリアなどにおける銘柄選択がマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) JPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース) は、参考指数です。参考指数の詳細は24ページをご参照ください。

分配金

(2023年5月16日～2023年11月15日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第97期から第102期まで1万口当たり30円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2023年5月16日 ～2023年6月15日	2023年6月16日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年8月15日	2023年8月16日 ～2023年9月15日	2023年9月16日 ～2023年10月16日	2023年10月17日 ～2023年11月15日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.546%	0.542%	0.547%	0.560%	0.584%	0.581%
当期の収益	－	－	－	30	－	0
当期の収益以外	30	30	30	－	30	29
翌期繰越分配対象額	7,303	7,273	7,243	7,398	7,368	7,338

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、世界の新興国の公社債などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド クラスC-SD(米ドル建て)に投資を行います。同外国投資信託では、世界の新興国の公社債などに投資を行い、トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用により、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指しつつ、中長期で安定した収益獲得に努めていきます。具体的には、流動性を重視しながら組入銘柄の見直しを行い、短期的な調整局面では割安と判断した優良銘柄を厳選し投資します。信用格付け別では、BBB格からB格中心の運用を継続します。国・業種別では、クレジット・スプレッドの拡大・縮小の局面に応じて、より大きなメリットを受ける国や業種を見極め、配分を決定していきます。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

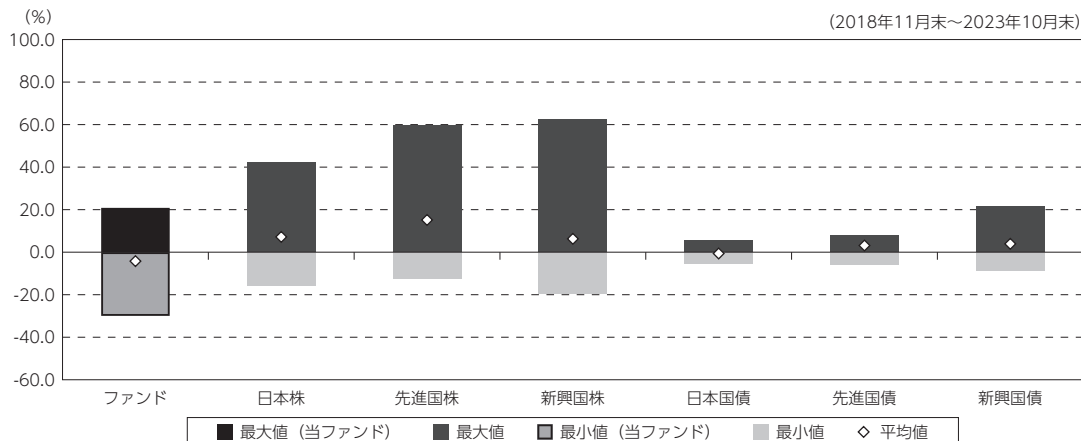
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2025年5月15日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界の新興国の公社債等を実質的に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 新興国債券ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	「インベスコ 新興国債券 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 新興国債券マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として世界の新興国の公社債等を実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド クラスC-SD (米ドル建て) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として世界の新興国の公社債等（貸付債権を含みます。）に実質的に投資します。 ・トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
分配方針	原則として毎月の決算時（毎月15日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-4.2	7.2	15.2	6.3	-0.6	3.1	3.9
最大値	20.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-30.0	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P24の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月15日現在)

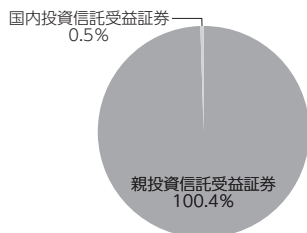
○組入上位ファンド

銘柄名	第102期末
インベスコ 新興国債券 マザーファンド	100.4 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.5
組入銘柄数	2銘柄

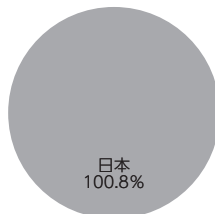
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

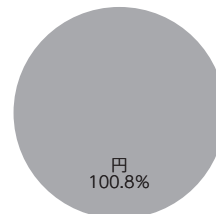
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2023年6月15日	2023年7月18日	2023年8月15日	2023年9月15日	2023年10月16日	2023年11月15日
純資産総額	11,038,132円	11,233,877円	11,183,058円	10,871,247円	10,792,840円	11,006,653円
受益権総口数	20,199,901口	20,386,957口	20,502,302口	20,417,619口	21,118,739口	21,439,080口
1万円当たり基準価額	5,464円	5,510円	5,455円	5,324円	5,111円	5,134円

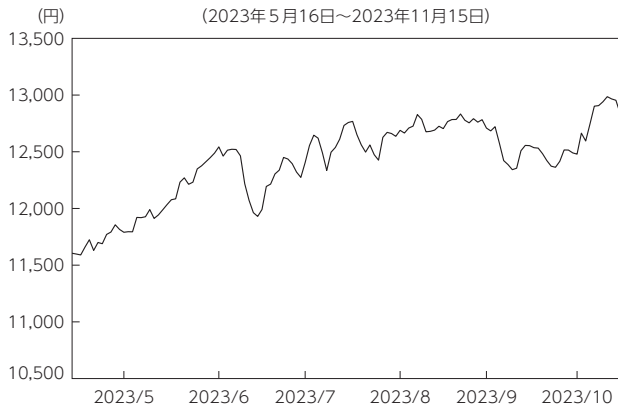
* 作成期間 (第97期~第102期) 中における追加設定元本額は1,603,794円、同解約元本額は245,607円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 新興国債券 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年5月16日～2023年11月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月16日～2023年11月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	円 3 (3) (0)	% 0.021 (0.021) (0.000)
合計	3	0.021

期中の平均基準価額は、12,435円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

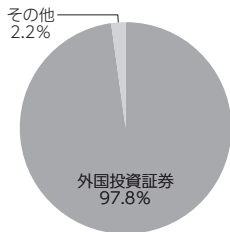
(2023年11月15日現在)

銘柄名	第17期末
インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド クラスC-SD	% 97.8
組入銘柄数	1銘柄

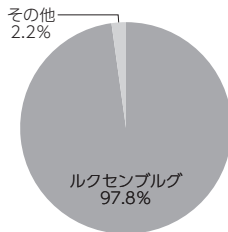
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

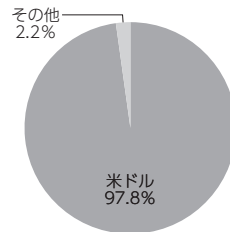
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド

「インベスコ 新興国債券 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位10銘柄】

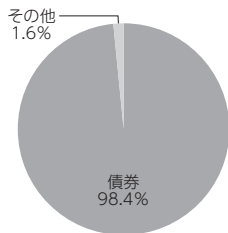
(2023年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	Angolan Government International Bond 8.75% USD 14/04/2032	債券	1.3
2	Romanian Government International Bond 5.25% USD 25/11/2027	債券	1.2
3	Philippine Government International Bond 2.457% USD 05/05/2030	債券	1.2
4	Republic of South Africa Government International Bond 4.85% USD 30/09/2029	債券	1.1
5	Panama Government International Bond 8.875% USD 30/09/2027	債券	1.1
6	Saudi Government International Bond 3.25% USD 26/10/2026	債券	1.1
7	Brazilian Government International Bond 4.625% USD 13/01/2028	債券	1.0
8	Oman Government International Bond 5.375% USD 08/03/2027	債券	1.0
9	Bahrain Government International Bond 6.25% USD 25/01/2051	債券	1.0
10	Hungary Government International Bond 5.25% USD 16/06/2029	債券	0.9
組入銘柄数		242銘柄	

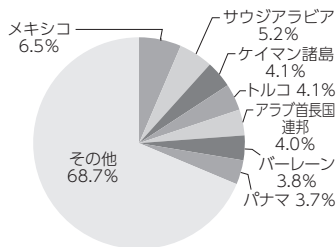
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

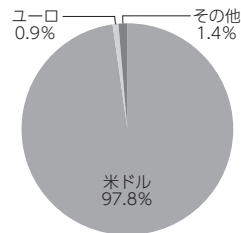
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



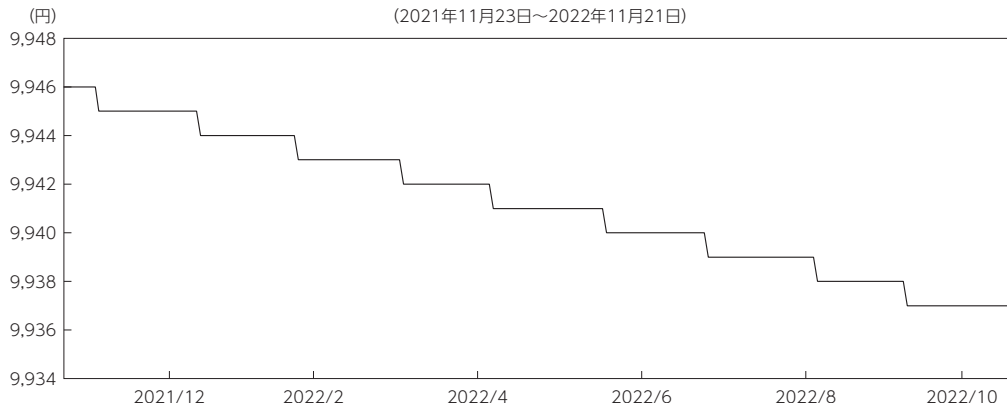
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2021年11月23日～2022年11月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2021年11月23日～2022年11月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	0	0.000	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(0)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.000)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、9,941円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2022年11月21日現在)

2022年11月21日現在、有価証券等の組み入れはございません。

<当ファンドの参考指数について>

<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてJPMorgan EMBI Global Diversified (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、基準日前営業日のJPMorgan EMBI Global Diversified (米ドルベース) に基準日当日の米ドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) を乗じ、設定日 (2015年6月5日) を10,000として、当社で独自に指数化したものです。

<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてJPMorgan EMBI Global Diversified (円ヘッジ・ベース) を掲載しています。当該参考指数は、基準日前営業日の指数値を用い、設定日 (2015年6月5日) を10,000として、当社で独自に指数化したものです。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIX (東証株価指数) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co. 及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。